

# 災害対応業務モデルによる地方自治体における災害対応業務の支援について

## 大規模災害時における自治体の課題

- △ 災害対応の全体像が把握できていない。
- △ 見通しの設定やそのために必要な人員配置等の管理ができていない。

## 課題解決に向けたアプローチ

平成28年度末に試行版作成予定

- 災害対応業務の全体像把握のための「**災害対応業務の体系化**」
- 被害状況に基づく、業務量の予測と人員マネジメントのための「**災害対応業務支援ツール**」



## 「災害対応業務モデル」の活用イメージ

平時(災害発災前)

発災

災害発災後

(A) 災害対応業務の体系化

(B) 災害対応業務支援ツール

○ 幹部・職員用の教育・訓練ツール

- 被害想定量に基づくシミュレーション
  - ・ 人員配置の見直し
  - ・ ボランティア、民間企業等の活用の検討
  - ・ 受援体制の検討 等

- 災害対応業務の全体把握
  - ・ 業務の進捗状況管理と今後の戦略づくり
  - ・ 各種様式の活用

- 被害発生量に基づく業務マネジメント
  - ・ 人員不足分野の洗い出し
  - ・ 目標設定に応じた、人員配置計画の策定・支援要請

## 「災害対応業務の体系化」

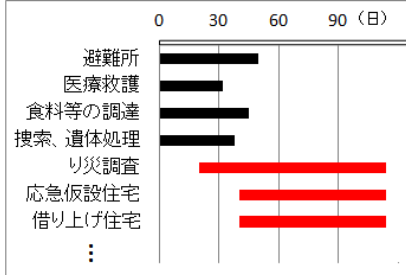
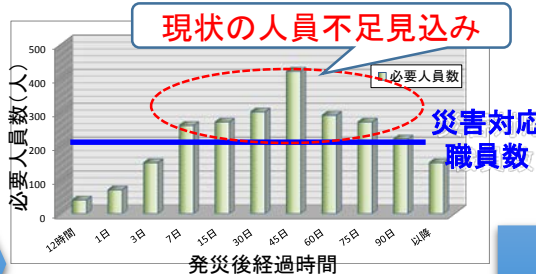
(例) 避難関連

	発災直後(避難支援)	応急対応(避難所支援)	復旧・復興
政策部局	外国人に対する避難支援	外国人向けの避難所の開設	
観光部局	外国人向けの避難所の開設	外国人向けの避難所の開設	
教育委員会	児童福祉施設等の避難所としての活用	児童福祉施設等の避難所としての活用	
福祉部局	福祉避難所の開設	福祉避難所の開設	
	福祉避難所の開設	福祉避難所の開設	
	避難所と生活実態調査	避難所と生活実態調査	

各業務毎に、制度や標準的な様式、マニュアルとの関連付け

## 「災害対応業務支援ツール」

被害情報の入力



適切な人員配置の見直し  
応援職員の見直し

応援職員の活用

